

理事長・学長の川瀬正明です

まずはみなさんの入学を大変うれしく思い、教職員を代表して、心から歓迎致します。

本来なら入学式で、式辞という形でみなさんに最初の挨拶が出来るはずでしたが、新型コロナウイルス感染症への対策で入学式が中止になりましたので、この最初のガイダンスで挨拶します。

実はみなさんへのメッセージは今日がはじめてではなく、新型コロナウイルス感染症への注意喚起をすでにポータルサイトに掲示してあります。

皆さんはポータルサイトを今日から使えるようになるはずですが、大学と学生を結ぶ大変重要な情報ツールですので、是非毎日チェックするようにしてください。

緊急事態宣言が出されるような状況になっていますし、そうなると今日説明される今後の予定も変更になる可能性があります。

まずは、自分の身の回りから、できることをしっかり実行してほしいと思います。

さて、最初に大学の成り立ちに触れますが、本学は1998年に千歳市が資金の大半とこの広い土地を提供してできた大学です。

ただし、運営は民間で行うという形態、それを公設民営と言いますが、私立大学として経営してきました。少子化が進む中での私立大学は大変な面もあり、大学改革をしなければ成り立たなくなる、という状況から数年前から公立化に向けてうごきを始めました。

晴れて昨年、公立大学になったわけですが、全国で十大学ほどあった公設民営大学の中で、そのほとんどが公立化され、本学は最後のほうです。

さて、公立化して何が変わったか、と言うと、まずは経営形態が私立から公立になりました。そのおかげで授業料も半額以下になりました。これはみなさんにとって直接的に大きなメリットです。大学改革はそれだけではありません。地域貢献と教育改革も大きな柱で、実は昨年度まで4年間、「教育改革加速プロジェクト」を文部科学省の補助金を受けてやりました。

その目的は卒業するときみなさんの本学卒業生としての質を保証する、と言うものです。すなわち、本学の卒業生はこういうことが出来る、こういう資質を備えている、という保証をしようということです。細かな内容は申しませんが、もっとも大事な点を一つだけ言うと、みなさんが「みずから主体的に学ぶ態度を

身につける」と言うことです。

ほかにも大学生として、こういう心構えを持ってほしいと言うことはいくつもあります。それは来週、「サイエンス基礎」の1回目にまとまった話を出来る機会がありますので、またゆっくり話します。

もう一つ、最初に言っておきたいことがあります。

大学にはそれぞれ建学精神なり、大学の理念、と言われる大きな目標がありますが、本学の場合、私立大学時代は「人知還流」「人格陶冶」という言葉でした。公立化にあたってその意味するところを継承して、大学の理念として新たにさだめ、10周年記念棟の渡り廊下に掲示してありますので、時々見てください。

要点は

- ・人材の育成と学術産業の振興に努める
- ・地域の知の拠点として地域と共生し、社会とともに発展する大学を目指す

と言うことです。当たり前のことと思うかもしれませんが、当たり前のことをきちんとやることはとても大切なことです。

コロナウイルス感染症は大変困った影響を我々の生活に及ぼしていますが、こういうときこそ、どう自分を処していくか、いけるか、まさにみずから学ぶ姿勢を身につける機会にもなります。そうできる人は、災いを災いだけでは終わらせないことができる人です。

改めてみなさんを歓迎し、これから一緒に学べることを楽しみにしています。

私の挨拶は以上ですが、毎年入学式には千歳市長から皆さんに対して、歓迎の祝辞をいただいています。今回は、歓迎のビデオメッセージをいただいていますので、聞いてください。